

no.66

R7.1

新年特別号



社会医療法人社団 沼南会

沼隈病院
常石医院

おおぞら

社会医療法人社団 沼南会
社会福祉法人 まり福祉会

令和7年 仕事始め式



檜谷義美会長 挨拶



川眞田修院長 手締め

新年の言葉

あけましておめでとうございます。

昨年も、世界でも日本でも、そして我々の身の回りでも、本当にたくさんの出来事がありました。そのような中、何とか今無事に新年を迎えることができたことは、本当にありがたいことだと思えます。

昨年は数年ぶりに顔を合わせる形での忘年会を開催することができました。そこでの理事長挨拶の中で、沼南会の創業者である塙本宇一郎についての話がありました。塙本宇一郎は、「地域のために」という思いから、雨の日も風の日も、町内でも離島でも、自転車を担いで往診に出向き、求められる医療を提供するために自分の力の限りを尽くしてきました。それが沼南会、

社会医療法人社団 沼南会 会長 檜谷義美

まり福祉会の、本当のルーツであると思います。

今ここにいる私たちも、医者になりたい、看護師になりたい、検査技師になりたい、あるいはその他すべて、医療の関わりに携わりたいと思ったきっかけは、「人助けをしたい、人の役に立ちたい」という思いが原点ではないでしょうか。沼隈病院のルーツを再確認するとともに、私たち自身も「なぜ今、この仕事に就いているのか」という原点を確かめて、この新しい1年を迎えていただければと思います。継続することは力になります。今年も引き続き、全員の力を合わせて色んな難局を乗り越えていければと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年
新年のごあいさつ

社会医療法人社団沼南会の歩みと 頼りがいのある組織に

社会医療法人社団 沼南会
社会福祉法人 まり福社会
理事長 檜谷 まりこ



当院の成り立ちと継承すべき理念

新年あけましておめでとうございます。
今回この紙面をお借りして当社会医療法人の成り立ちを少しだけ、お話ししたいと思います。

初代の開設者である塙本宇一郎(私の父)が1945年終戦後まもなく常石に診療所を開設しました。

父は和歌山県の高野山の麓で紀の川の近くの地主の長男として誕生しました。子供のころは、糸を垂らす澤の蟹取りが非常に得意で、「蟹取りの宇さん」と言われたそうです。父にとって沼隈の当地は見知らぬ土地だったのです。

明治生まれで地元の田舎の中学校から旧制高校第六高等学校に(通常6年生で受験するようですが)5年生で合格し、その時は村中提灯行列で祝ってもらったようです。その後京都帝国大学及び大学院を卒業し、日赤病院で内科医長をしていました。

30歳を過ぎたころ、海軍軍医として(傷病兵を治療する赤十字船)召集され南方に赴きました。戦争が激化し終戦間近になると、多くの傷病兵を乗せた病院船は戦線を離れて日本本土へ向かいました。父は最初に日本に向かう病院船に乗り遅れ、もう日本には帰れないと、ひどく落胆したようです。しかし幸い次の船に乗ることができ、しかも無事に日本にたどり着いたのは、父の乗った船だけでした。そのあと日本に向かった赤十字船はすべて撃沈されたとのことです。傷病兵を乗せた船は条約で互いに撃沈

してはいけないことになっていましたが、戦も終わり近くになるとお構いなしだったようです。もし違う便に父が乗っていたならば、わたくしもこの世に生を受けていなかったかもしれません。

やっとの思いで日本にたどり着き、寄港したのが軍港のあった沼隈の地でした。当時無医村であったため、赤十字船が停泊している間は乗り組み員の方々と地元の人々の診療を赤十字船で行いました。そうこうしているうちに終戦となり、日本中が敗戦で混乱する中、今後どうするかと父も迷ったのではないかと思います。結局、もと勤務していた日赤病院や大学には戻らず、戦争のため偶然ご縁のあった当地で1945年12月診療所を開設したのです。(地元の有志の方々のご要請やご協力をいただいた上でのことだと思います。)

戦争がなければ、見知らぬ土地で、まさか親子3代にわたって、地元の人々に助けられながら、医業を営んでいるという今はなかったでしょう。人間の運命は不思議な糸で操られていると申しますが、まさに運命の不思議を思います。

それからの父の日常は、午前中に診療所の外来診療を済ませ昼食もそこそこに、午後からは自転車にとび乗り常石の港に急ぎました。今でこそ常石港は立派になりましたが、当時は大きな船は着港出来なかったため、まずは自転車を担いで伝馬船に乗りこみ、少し沖に出てさらに巡航船に乗り換えて、周囲の離島に渡って島の人々の診療にあたっていました。

－ 塙本宇一郎の面影 －



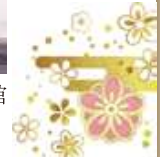
塙本宇一郎



塙本病院開設当時



塙本病院新館



思い起こせば私が幼稚園の頃だったと思います
が、その当時は幽霊が出るといわれた岬を、夜更けて
往診から帰る父が幼心にとっても心配で眠れず、帰
ったという合図に自転車のベルを3回チリン、チリン、
チリンと鳴らす音を聞いて、ホッとして寝つけたのを
昨日のように覚えています。今でも多少寝つきが悪
いのはそのせいかと思いますが…。

後から母に聞いた話ですが、(戦後は皆苦しいと
きですから)、貧しい人には薬代を黙って安くしてい
たそうです。また自分が診ている島の患者さんの最
期は自分が看取らねばと、海が多少時化する時でも
倍の賃金を払い船頭さんに無理を頼んで船を出し
てもらったようです。

父の医療人生は、戦前と戦後とではまるで180度
反対の生き方のようなのですが、父は地域医療にと
ても充実を覚えていました。

私は父の仕事の愚痴を聞いたことがありません。
「お金を儲けようと思うなら違う仕事を選べ、医師に
なるな」(父は俺は金儲けは下手だと公言してはば
からない人でしたので)
「医師という仕事は、患者さんとの信頼関係がで
きれば、これほど遣り甲斐のある仕事はない」
父はいつも口癖のように私に話してくれていま
した。お蔭で「仕事はつらいもの」という観念を持
つことなく、寧ろ生きがいだと教えてもらえたこ
とは、私の人生にとってとてもありがたいこと
でした。

父が回った同じ離島に、私も三十年来訪問診療
に行っています。その昔は舗装もないでこぼこ道や
坂道を、小雨の降る凍てつくような寒い日も、真
夏の茹だるような暑い日も、自転車ひとつでまわ
っていた父に、仕事とはいえ随分厳しかったのだ
とは、その頑張りには敬服します。今、私は自動
車(ミニカー)で回っています。大雨でも、父の
ことを思えば大したこともなく、しんどいとか
つらいとかは言えません。それ故、感謝しな
いと思います。

その後父は昭和36年に小さいながら病院(内科・
外科31床)を開設しました。

しかし昭和52年の寒くなりかけた師走の夜、父
が病に倒れたとの電話が母からありました。突然
のことに驚いて、取るものもとりあえず当座の荷
物を紙袋に詰め、翌日3歳の長男の手を引き、次
男がお腹にいる状態で新幹線に飛び乗り実家に
急遽帰りました。そして翌日より、無我夢中で聴
診器を握りしめ働きました。私が30歳の時で
した。

実を言えば育児のため仕事にブランクがあり、
自分でこの医業を背負えるのかと不安がいっぱ
いで、聴診器をあてている患者さんの鼓動より、
自分の鼓動の方が耳に響き困惑しました。また
勤めてくれるスタッフの給料を払えるのか、心
中自分がパニックでした。



沼南会グループの沿革

1945年12月	塙本宇一郎が沼隈郡沼隈町常石に診療所を開設	2001年4月	「グループホームぬまくま」「託児所つばさ」を開設
1961年9月	塙本病院設立	2002年12月	広報誌「おおぞら」発刊
1978年1月	檜谷鞠子 就任	2004年7月	「まりホーム熊野」「まりホーム内海」開設
1978年10月	檜谷義美 就任	2010年4月	「まりデイサービス内海」開設
1981年11月	塙本病院新館 落成	2013年5月	「まり高齢者複合施設山南」開設
1996年12月	沼隈町中山南に「沼隈病院」と「介護老人保健施設ぬまくま」を開設	2017年10月	沼隈病院 新外来棟完成
2000年4月	「まり訪問看護ステーション」「まり訪問介護ステーション」「まり居宅介護支援事業所」「常石居宅介護支援事業所」を開設	2017年11月	「地域密着型特別養護老人ホームまり沼隈」開設
		2018年8月	沼隈病院歯科 新設
		2023年4月	川眞田修院長 就任



軟弱な私も(お腹の子には早く生まれてきてはダメヨと祈るような思いで)臨月まで仕事を頑張り、無事出産出来ました。幸いにも主人が大学病院から帰ってくれ、無事ボタンタッチ出来た次第です。まるでサーカスの綱渡りのようだったと…。今から思い返せば色んなことが多々ありすぎるほどでしたが、いずれも自分のために必要なことであったと素直に思えます。

その昔、当地では治療といえば風邪か、外科的には出来てもせいぜい虫垂炎の手術程度という認識でした。だからと言って、田舎だから医療も不十分でいいということは絶対ないと、せめて医療センターや市民病院に届けるまでの安心できる中継医療施設が必要だと、まだ若かった私たちは思いました。もう50年も前のことです。

困難は多々ありましたが、当地でも市中に劣らない医療を実現しようという思いで頑張ってきました。医療機器や機能の充実、人材育成に力を入れてきたことで、今では17の診療科と118の病床を持ち、特殊なケースを除き救急を含めてほとんどの患者さんに対応できるチーム医療体制を作ることが出来ました。介護サービス(社会福祉法人まり福祉会を設立)も同様に、高齢の患者さんをはじめ病気や障害のある方がたを支えるために必要と思われることをできる限り実現しようと努力し、とにかく求められることに一生懸命、一つ一つ応えていく姿勢が大事と思っています。

グループを充実させる一方で、地域連携も非常に大切で、実践しています。

「当院の力では十分な治療が難しい」という症例があった時には、速やかに高度な医療機関につながります。そして一定の治療を終えられたらこの地域に戻ってきていただける仕組みを作っています。これが患者さんの安心と信頼につながると思っています。患者さんの紹介にあたっては、医師同士の信頼関係も不可欠です。そのためにも良い関係作りがとても大切で、心を砕かねばと思っています。

現代は特に医療環境や医療情勢の変遷が非常に激しく医療経営も大変な時代です。父の時代は古き良き時代だからと言ってしまえばそれまでですが、父が残してくれた医療の根本姿勢は時代がどう変わろうと、やはり守り継いでいかねばと心しています。

最後になりましたが、今日有るのは職員の皆さんの頑張り、地域の患者さんの支援のお蔭と心より感謝して、新年のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

檜谷 まりこ



沼隈病院長 新年のごあいさつ

社会医療法人社団 沼南会
沼隈病院
院長 川真田 修

あけましておめでとうございます。今年もみなさまにとって良き年でありますようお願いしておりますとのご挨拶で締めくくれないのでは、と思わせるような出来事が世界中で発生しています(お隣の韓国でも)。未来が予測できない事態に世界は、そして日本は陥っていくのでしょうか?今年アメリカでは2期目のトランプ政権が発足いたします。これだけでも不確定な時代とマスコミでは表現されています。アメリカでは分断の時代が到来するとも予想されています。内戦をテーマにした映画も作成されました(シビル・ウォー アメリカ最後の日)。このようなことが起きないと誰が言えるでしょうか。現にウクライナとロシアの戦争は続いています。分断にはSNSで語られたFake newsなどが大きく影響しているのではとも言われています。アメリカの大統領選挙や、日本の東京都知事選挙、兵庫県知事選挙でもSNSの重要性が指摘され、その情報の信憑性に対し問題があったとのコメントも認められました。嘘かもしれない情報が拡散しそれを信用してしまう人々の中に自分は組み込まれないと言い切ることができるだろうか?そんなことを考えていたらふと思い出すことがありました。

NHKの映像の世紀・バタフライエフェクトという番組をご覧になられたことがありますでしょうか。昨年ゲッペルスについての放送があり、とても印象

に残っています。ご存知のようにゲッペルスはヒトラー政権の宣伝大臣で、当時のドイツ共産党を敵対勢力として描くことによってナチスの正当性を際立たせていました。ゲッペルスは大衆を信じ込ませることは容易で、情報が虚偽であろうと問題なく、ナチスにとって利益となるように大衆を誘導して行けると述べたそうで、当時の日本軍部もゲッペルスに学ぶことは多かったようです。

これを踏まえて現在の日本社会や、世界情勢を見てみると、敵対勢力を作り出し分断を煽って自らの正当性を声高に述べる政治家(立候補者)が多数存在するように思えてなりません。彼らがゲッペルスに習いFake newsを使って大衆を扇動する行動に出たときに、私達はその嘘を見破って正しい方向に歩みだすことができるのでしょうか?正しい情報を自ら選び出す眼力と、異なる意見を正しく評価する見識を持てるのでしょうか?歴史は繰り返すのでしょうか?歴史から学ぶことができるのでしょうか?どのように進んで行けばよいのか、答えは見えませんが、不確定な時代だからこそ、公平・公正・共通善を意識し、自分の行動を見つめ正しい選択ができるようになりたいと思っています。一年を振り返っていい年だったと思える世の中であってほしいと願いつつ新年のごあいさつとさせていただきます。

2025年は巳年!

「脱皮」で新しい自分に出会ってみませんか?



今年の干支は巳(み)、蛇です。古い皮膚を脱ぎ捨て新しい体に生まれ変わる蛇のように、今年は心身のデトックスに取り組んでみませんか?

デトックスという言葉を一瞬と検索してみると、解毒や毒素の排出という意味があるのだとか。一時、〇〇デトックスが流行ったように、「なんか体にいいらしい」というイメージとともに不思議な魅力がありますよね。というわけで、私も一つ、「デジタルデトックス」を紹介したいと思います。

デジタルデトックスとは、一定時間デジタル機器から離れることにより、デジタル機器から受ける様々な刺激やストレスを排出することを意味します。現代では便利で楽しいデジタル機器がたくさんあり、私たちはつい、それらに夢中になってしまいます。しかしたとえ楽しいと感じていても、私たちの心身は確実にストレスを感じているのです。

先日ドラマ「相棒」を見ていると、あえて電波の届かない別荘へ行き

しばらく過ごすというシーンがありました。何かに集中したいときには、電波やインターネットなどの情報から距離を置くのだということで、まさに“デジタルデトックス”だと思いました。別荘とまではいかずとも、キャンプなどのアウトドアで自然の中に身を投じることで、娯楽としてデジタルデトックスに取り組むこともできます。

「ネット依存症」という言葉を頻繁に耳にする時代です。なんでもそうですが、やりすぎは心身への毒にもなりえます。好きなことに没頭するのも良いですが、たまには、あれをやったりこれをやったり。楽しい事も、いろいろな種類があると、いいんじゃないかなと思います。気の向くままに、外に出て活動

する自分、家でじーっとしてみる自分、新年を機にいろいろな新しい自分と出会ってみてはいかがでしょうか。



沼隈病院
公認心理師 永井柚衣

TOPIC

研修医のご紹介

福山医療センター 石井康道 先生

福山医療センター初期臨床研修医の石井康道と申します。10月に沼隈病院で地域医療を学ばせていただきました。

先生方の外来見学、訪問診療にも同行させていただき、地域医療に従事する上での知識と実践的な経験を積むことができました。地域に根ざした医療の現場に触れ、患者さんやご家族、そして地域の方々との信頼関係を築く大切さを改めて実感いたしました。

先生方をはじめ、スタッフの皆様には丁寧なご指導をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。皆様のおかげで充実した研修期間を過ごすことが

でき、地域医療の重要性とやりがい学ぶことができました。

今後も今回の経験を糧に、地域医療の発展に貢献できるよう励んでまいります。短い間でしたがありがとうございました。

石井 康道



第9話 君はまだシンデレラさ

経営管理部
事務・SE 川上 陽

2024年9月でめでたく40歳になりました。いつまでも頭の中身は中学生のままだと公言していましたが、やはり40歳ともなると世間からの扱いにも変化を感じます。中には「同じく今年40歳を迎えた職員で、ガールズグループ『NiziU（ニジュー）』にちなんだ40代ユニット『SiziU（シジュー）』を結成せよ」などという不屈き者もいましたが。

また、40歳といえば、20年ほど前に雑学紹介テレビ番組で「初老」として紹介されていた年齢です。さらに、来年は「本厄」を迎えます。こうして並べると、散々な年を迎えたようにも思えますが、ここでふと思い出すことがあります。

当法人では、持ち回り制で「1分間スピーチ」を行う会議があり、そこであるテレビ番組の内容が紹介されていました。「厄年は役年。責任ある立場にステップアップする年」だそうです。

僕は6年前、30代前半の頃に沼南会グループへ入社しました。それから6年の間、無意識のうちにずっと「若手」という感覚でしたが、この年月を通し

て、法人内での立ち位置や視野が大きく変わったと感じます。この40歳や役年を機に、「中堅」としてより一層法人に貢献できるよう、大人の階段を上っていただけたらと思います。

ところで、改めて「初老」の意味を調べてみたんですけど、なんと「寿命が長くなった現代では60歳ぐらいからと考える人が多くなっている」ですって！前言撤回。やっぱりあと20年ぐらい、フレッシュな若手の気持ちで居続けようと思います！



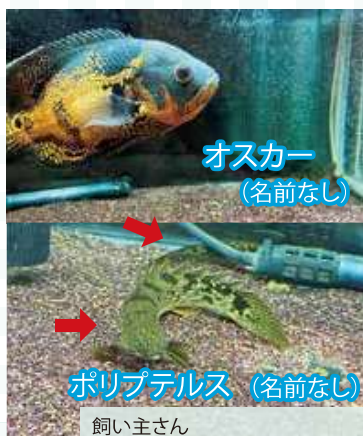
誕生日当日の著者近影

次は能引大輔さんです

うちのかわいい ペット自慢



当グループが誇る動物好きの職員による、動物好きのための、ペット自慢のコーナーです。かわいい動物たちに癒されてください♪



飼い主さん
まりデイサービス内海 岸田綾香

大きい方はオスカー、小さい方はポリプテルスという熱帯魚です。ポリプテルスは古代魚で、2匹います。名前はまだ決めていないので、いい名前を思いついた方はぜひ教えてください！



飼い主さん
一般病棟 橘高瑠奈

ウーパールーパーのうーちゃんと、アンダーソンサラマンダーのはーちゃんです。子どもたちが可愛がっています(*^^*)お家に来た時はまだ5cmもなかったのに、今では20cm以上になっています。



飼い主さん
まり居宅介護支援事業所 島谷喜代子

うちのにゃんこ達はみんな保護猫です。保護した時はみんな生後1～4か月位でやせっぽちでしたが、今では、おデブ道まっしぐらのデカニャンになりました。

無料講座開催のご案内

予防医学講座

毎月開催

健康に関する特定のテーマについて、数回に分けてさまざまな職種の視点からお話します。
沼隈病院に隣接する「清神会館」で開催しますので、診察やリハビリのついでに、お気軽にお立ち寄りください。



次のテーマ

心不全 会場:清神会館

開講スケジュール

第一回: 1月11日(土) 11:15~11:45
第二回: 1月25日(土) 11:15~11:45
第三回: 2月 8日(土) 11:15~11:45
第四回: 2月22日(土) 11:15~11:45

過去のテーマ

糖尿病
脂肪肝
便秘症
腎臓病
フレイル
など



〈予防医学講座のお問い合わせ〉
経営管理部
084-988-1995 (担当:川上)

出前講座

随時受付

“こんな話を聞いてみたい”というご希望にお応えし、地域の集会所や交流館等へ赴き、医療・介護・福祉などの幅広いテーマについて専門職種がお話します。
地域のサロンや集まりの1コマに、ぜひお声がけください。



2024.10.22 藤江町「生活習慣病」
管理栄養士 岡栄凛



2024.10.24 沼隈町中山「高血圧症」
管理栄養士 三島知世



2024.12.2 沼隈町中山「転倒予防」
理学療法士 園田真也

過去のテーマ

認知症
靴の選び方
薬の飲み方
口腔ケア
寝たきり予防
熱中症
など



〈出前講座のご依頼・お問い合わせ〉
地域密着型特別養護老人ホーム まり沼隈
084-980-8011 (担当:土井)

常勤・パート

職員募集中

右に記載の職種以外でもお気軽にお問い合わせください。
実地見学・オンライン見学は随時おこなっております♪

経営管理部 (084) 988-1995

【募集職種】

医師
臨床検査技師
看護師・准看護師
訪問看護師
作業療法士
言語聴覚士
歯科衛生士
診療放射線技師(パート)

介護支援専門員
社会福祉士
介護士(看護補助者)
介護福祉士
介護事務
診療情報管理士
保育士
看護学生

社会医療法人社団 沼南会

沼隈病院 ☎(084)988-1888

常石医院 ☎(084)987-0045

介護老人保健施設 ぬまくま
(通所リハビリテーション) ☎(084)988-1165

社会福祉法人 まり福祉会

地域密着型特別養護老人ホーム まり沼隈
ショートステイ まり沼隈 ☎(084)980-8011

まりホーム 熊野 グループホームぬまくま
☎(084)959-1166 ☎(084)987-4115

まりホーム 内海 まりデイサービス内海
☎(084)986-2255 ☎(084)986-2200

求人のお問い合わせ

沼隈病院 検索

経営管理部

〒720-0402 福山市沼隈町大字中山469-3
TEL(084) 988-1995 FAX(084) 988-1996
honbu@shounankai.com

まり高齢者複合施設 山南 ☎(084)988-1767

山南クリニック
まり介護付高齢者住宅 山南
まりショートステイ 山南
まりデイケア 山南
まり訪問看護ステーション (訪問リハビリ)
まり訪問介護ステーション

まり居宅介護支援事業所 ☎(084)988-0065



沼隈病院は、救急指定を受けた
24時間診療の病院です。

急病やケガの場合は、休日や
18時以降も受け付けております。

